



7月号

きらきただより

令和2年度

7月号

げんきな森中央保育園

たんぽぽ組

気温がぐんぐん上がり、夏の訪れを感じます。先月から水遊び・プール遊びがはじまりました。水の冷たさが気持ちよく感じるようになり、大はしゃぎで遊んでいます。一人一人の子どもの健康管理と衛生に気を配り夏の遊びが満期できるようにしていきたいと思ひます。

～7月のねらい～

- 夏の生活の仕方を知り、身の周りの事を自分でしようとする。
- 水あそびやプール遊びを通して、水に触れる事を楽しむ。
- 夏の自然に親しむ。

うた	絵本
・きらきら星	・だるまさん
・あさがお	シリーズ
・みずでっぽう	・おんなじ
・とまと	おんなじ

どろんこ
楽しい



大きいプールも
へっちゃらだ～



ふうせんあそび
おもしろい!

《お知らせ・お願い》

- ◎水遊びをしたり、汗をかいたりして、着替える事が多くなります。着脱しやすい衣服を2～3枚多めにお願いします。また、衣服等迷子になる事があります。大きく記名をお願いします。
- ◎プール・水遊びが始まりました。チェック表に必ず、体温○×(理由)記入をお願いします。



イヤイヤ期の子どもの関わり方

1、気持ちと言葉を繋げる

この時期の子どもは、まだ自分の気持ちを表すことばや表現を獲得していない為「気持ちをどうやって伝えたらよいのかわからない」という葛藤をしています。子どもの表情や状況をくみ取り適切な言葉で子どもの思ひを代弁しましょう。

2、落ち着くまで待つ

「待ってるよ」としばらく見守りましょう。気持ちが落ち着き、子どもが自分から「○○する」と言ってきたら、「ちゃんといえたね、えらいね」と褒めましょう。

3、子どもに決めさせる

「○○するよ」「○○しよう」と声をかけるとおおかた「イヤ」という答えが返ってきます。そんな時は、「積木と電車どっちであそぶ?」「赤と青どっちの服をきる?」と言うように、子どもに選択を委ねる聞き方をするとうまくいく事があります。自分の気持ちを尊重されたという思ひが尊重されたという信頼関係を深める意味でも大切です。

4、頭ごなしに「ダメ」と言わない

頭ごなしに「ダメ」といった否定的な言葉は使わず、まずは「○○したかったんだね」「××が嫌だったんだね」と子どもの気持ちを受け入れる事が大切です。そのうえで、「でも今は、～だから、××してから○○しようね」などと提案の形で気持ちの切り替えを促しましょう